事例No.	1712
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	熊本県御船町

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・RPA ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	DX

事例内容・タイトル

RPAシステムによる水道台帳入力作業の定型業務効率化

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【熊本県御船町】
RPAシステムによる水道台帳入力作業の定型業務効率化

DX　水道事業

熊本県御船町環境保全課

取組の概要

毎月の水道料金の調定に伴う水道台帳システムへの入力に要する作業時間を削減するため、RPAシステムを導入した。

◆総事業費　RPAソフトウェア提供業務料900千円、RPAロボット開発料494千円

◆背景

- 毎月の水道料金の調定に伴う水道台帳システムへの入力作業は、必ず行わなければならない定型業務であるが、限られた職員により処理しなければならないため、他業務と並行しながら行う必要があるほか、勤務時間外に入力作業を行う必要が発生するなど、過度に職員の負担となっていた。そのため、入力作業時間の削減及び効率化を図る必要があった。
- これらの課題を解決するため、定型業務を自動化することで職員の業務量を削減し、職員がより付加価値の高い業務に従事することを目的として、RPAシステムを導入することとした。

◆具体的内容

- 水道係窓口で受け付けた水道の使用開始、休止、一時使用、名義変更の内容を水道台帳システムへ入力するRPAシステムの開発を委託した。

◆効果

- これまで上下水道の使用について、Excel受付簿と水道台帳システムに入力する必要があったが、様式化したExcel受付簿へデータを入力するのみで、あとはRPAシステムが受付簿データを読み取り、その情報を水道台帳システムに自動的に入力してくれるようになり、入力作業時間が削減される見込み（職員全体で▲約200時間/年）。
- 入力作業時間削減により、職員がより付加価値の高い業務に従事することが可能となる見込み。

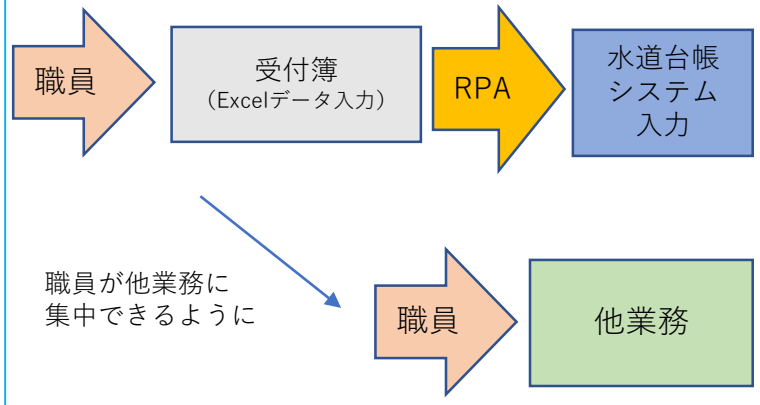
取組のポイント

- 業者選定において庁内でRPA環境構築に関する検討委員会を設け、審査した結果、基本的仕様や、操作性、技術的サポートの充実において要件を満たす業者を選定した。

公営企業情報

- 行政区域内人口　17,047人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　99.03km²（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　15,721人（令和3年度決算）

RPA活用イメージ



取組のスケジュール

- 令和4年11月に検討を開始し、令和5年2月にロボット開発の契約を締結。
- 令和5年3月から運用開始。

今後の展望

- 今回の入力作業ロボットの効果を検証し、今後は他業務へのロボット使用を検討し、業務全体の作業時間の削減と業務効率化を目指す。